

授業の具体的展開例

- T : 「9日の東京都の配水量」のグラフを見て、分かったことや気付いたことを発表しましょう。
- C : 2日は変わり方が少ないけど、9日は上がり下がりが激しいと思います。
- C : 9日は試合開始から使用量が下がって、ハーフタイムと試合終了後に急に上昇しています。
- C : 試合中とハーフタイムとの差は約9万立方メートルと新聞記事に書いてあります。
- T : 新聞記事の内容とあわせて読んで考えるといいですね。では9日のハーフタイムを中心としたグラフの上がり下がりが激しい理由について考えた人はいますか。
- C : 「トイレ我慢 テレビくぎ付け」と記事に書いてあります。試合をテレビで見ていた多くの人が、ハーフタイムにトイレに行ったからだと思います。
- C : みんな試合中、席を離れるのが辛いから、ハーフタイムや試合前と試合後にたくさんの方がトイレに行ったのだと思います。
- T : なるほど、しっかりと説明ができていますね。他に気付いたことはありますか。
- C : 水道の使用量の変化を表す折れ線グラフとサッカーの試合を見る人の行動が繋がっていることがおもしろいと思いました。
- C : グラフを詳しく読めば、日本対ロシアのサッカーの試合をたくさんの方が、食い入るように見ていることが分かります。
- T : 今度は別の折れ線グラフが4つあります。読み取って考えてみたいグラフを選んで、分かったことや気付いたことを書いてください。

板書例

身の回りにおけるいろいろな折れ線グラフを読みとろう

9日の東京都の配水量
グラフ

◎読みとりたいグラフを選ぼう

カルシウム
摂取量

残菜残飯量
推移

◎わかったこと・気付いたこと

- ・ 9日は上がり下がりがはげしい。
- ・ ハーフタイムと試合終了後に急に増えている。
- ・ 多くの方が、ハーフタイムにトイレに行ったことが読みとれる。

食中毒
発生件数

教育の
移り変わり

「活用」の力を育てる評価の工夫

本時では、新聞記事と折れ線グラフを合わせて読むことを通し、折れ線グラフの特長とグラフから情報を読み取るおもしろさやよさに気付き、意欲的にグラフを読んだりかいたりする態度を育てる。

グラフの数値の読み取りだけでなく、新聞記事を参考にさせながら、グラフ変動の理由まで関係付けてノートにまとめさせる。それをもとにして根拠を明確にした説明をさせる活動を取り入れる。

さらに、身の回りにおける折れ線グラフを積極的に読み取ろうとする態度を育てるために、グラフを児童に選択させて、変化の様子や特徴を読み取らせ、そのことをもとに問題作りをさせる。

問題作成、及び問題の発表等を通して、折れ線グラフの変化の特徴や意味をより深く考えさせ、折れ線グラフのよさに気付かせる。

「活用」の力を育てる評価の視点

新しい学習指導要領の「解説」（算数編）では、数学的な思考力・表現力を育成するために、言葉や数、図、グラフを適切に用いて問題を解決したり、自分の考えを分かりやすく表現し、伝え合ったりすることなどの指導を充実させると示されている。本時はまさにグラフを用いて考えさせ、自分の考えを説明・表現させる授業場面である。

「活用」の力を見取る具体的な視点としては、

- ① 折れ線グラフの変化の特徴、意味や今後の推移について、新聞記事などを参考にしながら読み取り、根拠をもとにして、理論立てて説明することができる。
- ② 自分が選んだグラフから、変化の特徴や意味を読み取り、そのことをもとに問題作りができる。

が考えられる。

さらには、児童が折れ線グラフに表すよさに気付くように振り返りシートを活用して、折れ線グラフについての自分で考えたことや気付いたことなどを記述させるようにする。

HOME

本時の流れへ

評価問題